

# 緊急赤潮情報R7-1

令和7年5月21日

大分県農林水産研究指導センター  
水産研究部北部水産グループ

日出港で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが注意密度を超えて確認されています。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

**本種の注意密度は、5,000細胞/ml、  
警戒密度は、50,000細胞/mlです。**

(ヘテロシグマ・アカシオの留意点)

- ① このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。
- ② 特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活けメ出荷等の対策を講じて下さい。
- ③ 赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査 月日	調査 場所	調査 時間	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞/ml)
----------	----------	----------	------------	------------	-------------	------------------------

5月21日 日出港 13:00 0 16.8 - 19,000

採水・検鏡:大分県東部振興局



海洋状況表示システムを加工して作成